

♣ 平成17年度の確定申告過去最高に

Q : 平成17年度分の確定申告の状況が国税庁から公表されたそうですが、どのような内容だったのですか？

A : 確定申告書を提出した者は2,318万1,000人で過去最高だったそうです。

【解説】

国税庁は、さきごろ、平成17年度分の所得税や贈与税、個人事業者の消費税の確定申告の状況を取りまとめ公表しました。

これによりますと、平成17年分の確定申告書を提出した者は、2,318万1,000人で過去最高だったそうです。

また、還付申告書を提出した者は、1,196万3,000人で前年対比10.6%増だったそうです。

申告書を提出する人が増えたのは、年金課税の見直しや株式等の譲渡所得件数が増えたことに基因するのではないかと国税庁ではみえています。

また、個人事業者の消費税の納税申告件数は、157万6,000件で前年対比約4倍となりました。これは、平成15年度の税制改正で消費税の課税事業者の免税点が3,000万円から1,000万円に引き下げられたことが原因です。

贈与税の申告者は43万2,000人で、納税額は1,166億円で前年対比18.4%増でした。

なお、平成17年度の確定申告でパソコンを利用した申告書提出件数は、国税庁のホームページを利用した申告132万3,000件の他に、各税務署に設置されたパソコンからの申告が60万件、e-Taxによる申告が4万4,000件ありました。

